

# 「日経平均カバードコール ATM インデックス」

## 算出要領

株式会社 日本経済新聞社

- 本資料は日本経済新聞社（以下「日経」という）が算出・公表を行っている「日経カバードコール ATM インデックス」の算出要領です。同算出要領は、今後、ルールの見直しなどに伴い変更されることがあります。
- 本資料は日経の著作物であり、本資料の全部又は一部を、いかなる形式によっても日経に無断で複写、複製又は転載することができません。本資料は、指数への理解を深めるために作成された資料であり、有価証券の売買等に関する勧誘を行うためのものではありません。

(2022年5月16日版)

## 1：概要

「日経平均カバードコール ATM インデックス」は、日経平均株価（日経平均）を原資産として、1 カ月ごとに新しく期近の日経平均のコール・オプションを売り建てる「カバードコール戦略」に基づく運用を行った場合の収益を表した指数である。具体的には、各限月の取引最終日翌日（S Q 日）に日経平均のコール・オプションを清算するとともに、原資産である日経平均とほぼ同じ水準の権利行使価格で新たに直近限月となった日経平均のコール・オプションを売り、そのプレミアムを理論上再投資した形となっている。

## 2：名称

正 称： 日経平均カバードコール ATM インデックス  
略 称： 日経カバードコール ATM 指数  
英文名称： Nikkei 225 Covered Call ATM Index

## 3：指数の計算

### （1）基本事項

- ・当日の指数値は、前日の指数値に対して、日経平均終値および対象となる日経平均のコール・オプション価格をもとにした変化率を乗じて計算する。
- ・算出に用いるオプションの価格および S Q（特別清算指数）は、大阪取引所の日経平均オプション取引における前日および当日の取引所公表値（前営業日のイブニング・セッションを含む）を用いる。
- ・指数値は、小数点以下第 3 位を四捨五入して第 2 位まで。単位はポイントとする。
- ・2001 年 12 月 28 日の値を 10,000 とする。
- ・指数は 1 日 1 回、終値ベースで算出する。

### （2）算出に用いるコール・オプション

- ・指数の算出には、算出時点での直近限月の日経平均コール・オプションを用いる（いわゆる Weekly オプションは対象としない）。
- ・S Q 日（取引最終日の翌営業日）から、対象を翌限月に変更する。
- ・コール・オプションの権利行使価格は、S Q 日の前営業日の日経平均終値以上の権利行

使価格のうち、最も小さいものとする。

### (3) 算式

日経平均カバードコール ATM インデックスは、以下の算式に従って、算出する。

#### ① 通常日の算式

$$\text{指数値(当日)} = \text{指数値(前日)} \times \frac{\text{日経平均終値(当日)} - \text{オプション価格(当日)}}{\text{日経平均終値(前日)} - \text{オプション価格(前日)}}$$

#### ② S Q日の算式

$$\text{指数値(当日)} = \text{指数値(前日)} \times \frac{\text{日経平均終値(当日)} \times S}{\text{日経平均終値(前日)} - \text{オプション価格(前日)}}$$

$$\text{ただし、} S = \frac{S Q(*1) - \text{オプション最終決済金額}(*2)}{S Q(*1)}$$

\*1: 変更前のコール・オプションの限月を対象とした S Q。

\*2: 変更前のコール・オプションの権利行使価格と S Q で決定される最終決済金額。

### (4) コール・オプションの価格

価格採用の優先順位は以下の通り。

- ① 終値
- ② 大引時点で有効な売り気配と買い気配の平均値
- ③ 清算値

### (5) 指数値の修正

取引所公表値の訂正など、指数値に影響を与える事象が後日判明した場合、原則として、過日にさかのぼっての修正は行わない。ただし、原指数である日経平均が過日にさかのぼって修正された場合はこの限りではない。

## (6) 過年度遡及分の算出

本指数の基準時点（2001年12月28日）まで、終値ベースでの遡及計算を行っている。なお、基準時点での算出に用いる2002年1月限月のコール・オプションの権利行使価格は、2001年12月限月の取引最終日である2001年12月13日の日経平均終値をもとに決定した。

## 4：その他

### (1) 配当込み指数の算出

「日経平均カバードコール ATM インデックス」の関連指数として、配当を加味した「日経平均カバードコール ATM インデックス（トータルリターン）」を日々終値ベースで算出する。

#### ① 通常日の算式

$$\text{指数値(当日)} = \text{指数値(前日)} \times \frac{\text{日経平均終値(当日)} - \text{オプション価格(当日)} + \text{配当分(*1)}}{\text{日経平均終値(前日)} - \text{オプション価格(前日)}}$$

#### ② S Q日の算式

$$\text{指数値(当日)} = \text{指数値(前日)} \times \frac{\text{日経平均終値(当日)} \times S + \text{配当分(*1)}}{\text{日経平均終値(前日)} - \text{オプション価格(前日)}}$$

$$\text{ただし、} S = \frac{S Q(*2) - \text{オプション最終決済金額(*3)}}{S Q(*2)}$$

\*1：配当分は、当日の「日経平均トータルリターン・インデックス」の算出に用いた予想配当落ち額ならびに配当修正額の合計値。

\*2：変更前のコール・オプションの限月を対象としたS Q。

\*3：変更前のコール・オプションの権利行使価格とS Qで決定される最終決済金額。

なお、配当の取り扱いは「日経平均トータルリターン・インデックス」に準拠している。

## (2) 利用許諾

「日経平均カバードコール ATM インデックス」(日経平均カバードコール ATM インデックス(トータルリターン)を含む。以下同様)は、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、株式会社日本経済新聞社は「日経平均カバードコール ATM インデックス」自体及び「日経平均カバードコール ATM インデックス」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有している。「日経平均カバードコール ATM インデックス」を利用した先物・オプションなどの金融派生商品を提供したり、ファンドやリンク債などの金融商品の組成・売り出し、又はデータ提供する場合などで「日経平均カバードコール ATM インデックス」を商業的に利用する場合は、日経との利用許諾契約が必要になる。

## (3) 免責

株式会社日本経済新聞社は、「日経平均カバードコール ATM インデックス」(日経平均カバードコール ATM インデックス(トータルリターン)を含む。以下同様)を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、一切の責任を負わない。日経は、「日経平均カバードコール ATM インデックス」の計算方法、その他「日経平均カバードコール ATM インデックス」の内容を変える権利及び公表を停止する権利を有している。

「日経平均カバードコール ATM インデックス」は原則として本資料に記載された方法等に基づいて算出される。ただし、本資料に記載のない事象が発生した場合や本資料の方法による算出が困難と日経が判断した場合は、日経が適当とみなした処理方法により算出することがある。また、同算出要領は、今後、ルールの見直しなどに伴い、変更されることがある。本資料に記載された情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害などについて、日経は一切その責任を負わない。

なお、「日経平均カバードコール ATM インデックス」の算出に使用する「日経平均株価」についても、上記免責は同様とする。

## (4) 問い合わせ先

日本経済新聞社 インデックス事業室  
電話：03-6256-7341、メール：index@nex.nikkei.co.jp